

令和4年度 第1回 環境審議会 議事録

- 1 日 時 令和4年7月29日（金）午後2時～午後3時30分
- 2 会 場 豊明市商工会館 1階 イベントホール
- 3 出席者 委 員 14名出席 5名欠席
事務局 経済建設部長、環境課長、環境課長補佐兼ごみ減量推進担当係長、環境保全担当係長、環境保全係員
傍聴者 2名
- 4 先行行事 委員委嘱
- 5 議事 (1) 第2次豊明市環境基本計画における令和3年度の実績について
(2) 太陽光発電事業（令和3年度）発電量について
(3) 豊明市家庭系ごみ減量化実施計画における減量化目標の達成状況について

6 議事内容

■部長 あいさつ

暑い中ご参集賜りましてありがとうございます。改選を受け、新しい委員任期で審議会開催となります。長きにわたり委員を引き受けてくださっている方や今回新しくお引き受けくださった方がいらっしゃいます。よろしくお願いいたします。

近年、7月に豪雨が発生するようになっております。気候変動に伴う環境変化を実感するところです。また、今年は6月に記録的な猛暑となりました。毎年 想定を超える現象が起きています。環境行政は、大変幅広く複雑です。しかし、広い視点でありつつも、身近なところで何を行うのか、着実にできることは何か、地道に考えることが必要かと思えます。

本日は、委員の皆様の多くの視点から活発なご議論をお願いいたします。

■会長選出

■副会長選出

■会議成立

議 長 14名の委員出席で成立要件を満たしているため、審議会を開会する。

■傍聴の承認

議 長 本日、傍聴希望が2名より提出されている。傍聴を許可したいと思うが、よろしいか。

それでは、傍聴希望者の入室を許可する。

- 議事（1）第2次豊明市環境基本計画における令和3年度の実績について
- 事務局 資料1「第2次豊明市環境基本計画における令和3年度の実績について」に基づき説明をする。
- 議長 委員の意見を求める。
- 委員 フードドライブについて、商工会で定期的に行っているが、市役所としての窓口が、市民の方に伝わっていないと感じる。
- 事務局 フードドライブについては、市の事業としては行っていない。
- 委員 生活学校が実施している。9/7（水）に行う予定で、市の広報に掲載してもらっている。翌年、1/17（火）も実施する。
- 委員 「再生可能エネルギーの導入・利用促進」について、太陽光発電を設置する場合、市に申請があった後、市としてどのような対応ができるのか。
- 事務局 太陽光発電を設置するにあたり、大規模でない限り、市に申請は必要ない。しかし、環境省のガイドラインを遵守するように啓発したり、伝えたりしている。今後も注意していきたい。
- 委員 「潤いと安らぎのあるまちづくり」の中の「地域の清掃活動の実施」について、コロナ禍で地域の活動が減ってしまったのではないか。
- 事務局 昨年はコロナの影響を受け、5月のごみゼロ運動等が見送りになったケースが多かった。今年は少し復活している地域が増えてきたように思う。
- 委員 青年会議所では防災に関する事業を計画している。市では、市民の方が災害時に自分たちで何ができるか、また、市民の方が何を知りたいのかなど把握しているか。
- 事務局 担当部署が違うが、豪雨等で水が来るのではないかとということ、豊明市に転入される方が気にされることが多い。実際、境川付近ではその心配がある。市民の方にはハザードマップを配布している。また、何ができるかということについて、地震の際には、家具の転倒によりケガや亡くなる方が多い。そのため、家具の転倒防止対策をしっかりとるように案内、啓発している。
- 委員 青年会議所としても、30、40歳代の方にもっと知ってほしいと考えている。
- 議事（2）太陽光発電事業（令和3年度）発電量について
- 事務局 資料2「太陽光発電事業（令和3年度）発電量について」に基づき説明をする。
- 議長 委員の意見を求める。

水上メガソーラーはとてもいい発想だと思うが、発電量の低下が課題である。

副議長 新エネルギー推進委員会のときから、これは豊明市の独自事業として行った事業である。

■議事（3）豊明市家庭系ごみ減量化実施計画における減量化目標の達成状況について

事務局 資料3「豊明市家庭系ごみ減量化実施計画における減量化目標の達成状況について」に基づき説明をする。

議長 委員の意見を求める。

委員 プラスチック回収方法が変わるというのを広報で見た。「ごみの分け方・出し方」の冊子はとてもいいと思う。ただ、広報と一緒に配るとすぐに処分してしまう人がいるのではないかという懸念がある。年度を渡って使うものなので、いつも見るようにすることを広報してほしいと思う。

事務局 現在、改定作業の最中。わかりやすくしたいと常に考えている。貴重なご意見をいただけてありがたい。今回は右上に「保存版」と記載しようと思う。

委員 「刈草を乾燥させてから捨てる」という説明があったが、刈草を資源にするとよい。土に混ぜると肥料として生まれ変わる。市内に何か所か、そういった場所を作ってはどうか。

事務局 刈草を資源にするために、市内の数か所に出す場所を作り、持ってきてもらうということも考えているが、決定には至っていない。まずは、家庭ごみとしてすぐに赤い袋で出すのではなく、乾燥させてから出すということを啓発したい。燃えるごみの赤い袋に刈草を入れ、口を開けて数日置いておくだけでも、30%ほどの水分が蒸発するので、燃えるごみの減量になる。

委員 プラスチックの回収方法が変わるのであれば、パンフレットの改定の中に盛り込むだけではなく、それはそれで別で啓発した方がよいと思う。

事務局 パンフレットの保存版も作成しているが、あわせて「プラスチックの回収方法が変わる」というチラシも作成しており、パンフレットとは別で周知できるように考えている。

■その他

議長 その他について何かあるか。

事務局 特になし。
議長 それでは、最後に事務局より連絡事項をお願いする。

事務局 本日の議事録については委員の名前は伏せて掲載公開する。

議長 それでは、本日の審議会を終了する。